

平成 2 1 年度 日本大学高等学校・中学校
外部評価結果（総括）

平成 21 年度，日本大学高等学校・中学校より依頼を受けた外部評価者 6 名の代表として，以下のとおり外部評価結果を総括いたしました。

なお，評価（A～D）については評価者の合計数を記入しています。

評価の基準

【A よくできている， B できている， C あまりできていない， D できていない】

1 教育活動

	設 問	A	B	C	D
1	本校の教育目標は明確にされ，周知されていると感じますか。	3	3		
2	本校の教育目標は，十分に達成されていると感じますか。		6		
3	本校のカリキュラムは，教育目標を達成するために十分であると感じますか。		6		
4	本校は，生徒の学力向上や授業改善に向けて，組織的な取組を行っていると感じますか。	1	5		
5	大学との連携教育が充実していると感じますか。	3	3		
6	本校の施設・設備は教育活動上，十分であると感じますか。	6			
7	本校の教育は，国際化に対応できるものであると感じますか。		3	3	
8	学校行事とその内容は，適切であると感じますか。		6		

コメント

- 1 教育目標については昨年度よりも周知されてきたという結果でしたが，教職員はもとより，機会あるごとに生徒・保護者に理解される働きかけが必要だと思えます。
- 2 校訓や教育目標の達成のためには、『学校要覧』P 4 の「学年重点目標」などを見直し，日本大学高等学校・中学校 6 年間の計画的・系統的な指導を可能にする目標に改善し，その実現に向けた取組が大切であると思えます。
- 3 『学習指導要領』が改訂された本年度において，カリキュラム（シラバス）の改善が挙げられていることは大変重要なことであると思えます。
『中学校学習指導要領』、『高等学校学習指導要領』に示された改訂内容について，教職員全員が研修を深め，新しい時代に向けた教育の方向性と移行期間のカリキュラム（シラバス）について十分に検討していく必要があると考えます。また，『高等学校学習指導要領』のある中等教育学校関連法令等にも着目し，公立（県立・市立）中等教育学校との競合の対策も考えていくことが課題であると思えます。
- 4 生徒の学力向上に向けては，P D C A サイクルに基づき授業改善を図るなど，組織的な取組が行われていますが，受験で高等学校に入学してきた生徒と日本大学中学校からの生徒との学力差，授業について行けない生徒への対応等，検討すべき課題であると考えます。
公公式や小テストなど基礎・基本を確実に定着させる学習方法を考えていただきたい。
- 5 「総合大学としての日本大学」の付属校として，大学との連携教育は充実していると考えますが，生徒の能力開発，適切な進路選択のために，工夫する必要があると考えます。
他大学進学者へのバックアップも一考されると良いのではないですか。
- 6 国際化に対応する教育の具体的な目標設定や，オーラルコミュニケーションを重視した英語授業などの充実を図る必要があると思えます。

7 卒業証書授与式の式場での卒業生の呼名は、日本大学高等学校や日本大学への愛校心を培う重要な儀式であると考えます。生徒数の多い公立高校や他の日本大学付属高校でも行われています、是非ご検討ください。

2 学校生活への配慮（生活指導）

	設 問	A	B	C	D
1	本校の生活指導は、家庭との連絡・連携が適切に行われていると感じますか。		6		
2	本校の生徒は、生き生きと学校生活を送っていると感じますか。	5	1		
3	本校の生徒は、社会のルールや校則を遵守していると感じますか。		5	1	
4	本校は、交通安全や事故防止等、安全に関する指導に積極的に取り組んでいると感じますか。	4	1	1	

コメント

- 1 家庭との連絡・連携は、保護者対象のアンケートからも昨年度と同じく少し課題があるように思えます。授業公開・懇談会の機会を増やすことや、日常の家庭への連絡を密に取るなどに配慮が必要と考えます。
- 2 施設のリニューアルや男女共学化もあって、生徒は明るく生き生きと学校生活を送っているようです。愛される人間が育成されているように感じます。
- 3 生徒数から考えても問題行動を起こす生徒は決して少なくないと考えます。インターネット・携帯電話などへの対応を含めて、ルールや校則の遵守についての指導をさらに充実させていただきたい。
指導に当たっては、学級経営が生徒指導の基盤であることを十分認識し、学級担任を中心とした教職員が生徒一人一人の実態を十分に把握し、共通理解をもって対応することが大切であると思います。また、校長としての考え方を示すため、朝会での講話や講演会の開催を通して、校訓や日本の社会について、生徒たちに認識を深めさせることも大切です。
- 4 スクールバスの導入、登下校指導、防犯カメラの設置など、生徒の安全確保の対策は優れていると思います。

3 課外活動（生徒会・部活動）

	設 問	A	B	C	D
1	本校の生徒会・部活動は、活発に行われていると感じますか。	3	3		
2	本校の生徒は、ボランティア活動に積極的に参加していると感じますか。		2	4	
3	本校は、生徒会活動、部活動を行うのに適切な施設や設備が整えられていると感じますか。	6			

コメント

- 1 部活動への参加率は高いと思いますが、その成果は十分でしょうか。私立校としての部活動は、ある程度の成果が上がるのが必須条件ではないでしょうか。実力のある生徒の募集もさることながら、重要なのは指導者としての教職員・外部指導者（コーチ）の力量

にあると思います。もちろん、生徒の健康管理等、部活動も学校教育目標を達成するための教育活動であることを十分理解した指導者でなければなりません。

- 2 アンケート結果からも、自治活動としての生徒会活動が活発に行われているとは言い難いと思う。学力レベルが高い生徒は責任感も強く自治活動への関心も高い。教員からの働きかけで活動するのではなく、ボランティア活動も含め、生徒の自主的な活動の推進に是非取り組んでいただきたい。
- 3 学習活動、生徒会活動、部活動などすべての教育活動について、素晴らしい施設や設備が整えられていると感じます。

4 進路指導

	設 問	A	B	C	D
1	本校の進路指導は、適切であると感じますか。	3	2	1	
2	本校の進路指導は、入学から卒業までを通じて系統的に行われていると感じますか。		4	2	
3	本校の進路指導は、生徒の進路選択に役立ち、関心・意欲を高める工夫がなされていると感じますか。		4	2	
4	生徒の情報収集のための施設・設備・資料は、十分かつ適切に配置されていると感じますか。	4	2		

コメント

- 1 進路指導を高校卒業後の進路にとどまらず、「自分の将来の生き方」としての勤労観や職業観を育てる進路指導を、中学校から高校まで系統的に展開する進路指導の充実に期待します。また、生徒の夢や保護者の進路についての意識を知るためのアンケート調査を実施し、6年間の進路指導に役立てることも考えられます。
- 2 「日本大学進路相談会」など早期動機付けが図られていると思いますが、理系・文系のコースの選択などについて理解できない保護者もいるので、理系・文系の偏りのない説明や、偏差値だけにとらわれない進路選択について、具体的なケースを上げるなどして、丁寧な説明をお願いしたい。
- 3 日本大学付属の高等学校としての立場もあると思いますが、「大学センター試験」対策を行うなど、日本大学への進学と国公立を含む他大学への進学の複線的な対応が必要なのではないでしょうか。国公立大学など他大学受験者への支援をすることが、日本大学各部のレベルアップにつながると思います。
何よりも現状に甘んずることなく、実力をもって入学してきた生徒の可能性を最大限引き出し、生徒の夢や希望を高め、達成させる教師集団であって欲しいと思います。

5 保健・衛生

	設 問	A	B	C	D
1	本校は、生徒の健康に配慮し、適切な体制をとっていると感じますか。	5	1		
2	保健室や生徒相談室内の環境は、整っていると感じますか。	4	2		
3	保健室や生徒相談室は、生徒が相談しやすい環境になっていると感じますか。	4	2		

コメント

- 1 長い人生における健康の重要性を理解させ、基本的な生活習慣（食育を含む）の確立に努力していただきたい。
- 2 保健室・生徒相談室とも環境整備は十分に配慮されていました。生徒数から考えて、保健室・保健相談室はもう少し広いスペースが確保できると良いと感じました。
- 3 カウンセラーの配置は早かったようですが、子どもたちのメンタル面でのケアは年々大切になっています。不登校生徒の数は少ないようですが、保護者の相談も含め、専門家としての臨床心理士カウンセラーの週2・3日勤務配置が必要に思えます。

6 図書

	設 問	A	B	C	D
1	生徒の読書量を増加させるための啓蒙活動は、適切であると感じますか。	1	3	2	
2	図書室の座席は、十分に確保されていると感じますか。	3	3		
3	図書室の蔵書・視聴覚資料は、十分であると感じますか。	3	3		
4	図書室の開室時間は、適切であると感じますか。	2	2	2	

コメント

- 1 図書館の広報活動は活発に行われているようですが、利用率は余り芳しくないようです。利用状況を分析し、教科等での利用などの活用方法を考えてみてはどうでしょうか。
- 2 生徒のニーズにも応えられる蔵書や、大学のイメージが掴める法令集・医学書・美術図書等の入門書など進路選択に関わる蔵書も考えて良いのではないかと。
- 3 21年度取組目標に「コンピュータによる蔵書検索システム導入」に掲げられたことは嬉しい限りです。是非実現して下さい。
- 4 「現代の図書館は、学校の知的空間であり、重要な知の情報センター」であることを考え、パソコンのスペースも用意されているので、日本大学文理学部図書館のように、インターネット検索ができるマルチメディアセンターとしての機能をもつ図書館になって欲しいと思います。

7 広報

	設 問	A	B	C	D
1	本校の学校案内、ホームページは、教育活動その他の学校運営の状況について、校内外への情報発信を行うのに適切であると感じますか。	3	3		
2	生徒募集に関して、学校説明会、各種媒体による広報活動は有効かつ効率的に実施されていると感じますか。	2	3	1	
3	受験生に、教育目標・教育理念等は十分に周知されていると感じますか。		3	3	

コメント

- 1 学校案内、ホームページ等、広報活動は充実していると思いますが、基本的なコンセプトを整備し、内容の充実やわかりやすい記述などに努めていただきたい。
- 2 戦略的観点から、日本大学創立120周年、日本大学高等学校・中学校創立80周年の節目を迎えるに当たり、現状の入学者層に満足することなく、より高い生徒層を取り込むために、入学試験等の募集活動を大きく改革しても良いのではないのでしょうか。他大学及び付属校では積極的な改革が行われています。
また、「学校説明会」の早めの開催や平日開催、公立中学校における学校説明会への参加など、積極的な生徒募集活動の展開することが必要であると思います。
- 3 受験生に教育目標・教育理念を周知させることも大切ですが、生徒が何を求めて日大高校・日大中学校に入学してくるのかという調査も必要なのではないのでしょうか。
私立校としての明確な教育理念は当然大切ですが、生徒や保護者のニーズにも関心をもつことが大切であると思います。

8 管理運営

	設 問	A	B	C	D
1	本校は自己点検・評価結果を活用して積極的に学校改革を図っていると感じますか。	2	4		
2	本校の施設及び設備は、指導上、安全上、管理上適切であると感じますか。	6			
3	本校の危機管理への対応は、適切であると感じますか。	3	3		
4	本校における個人情報の取扱いは、適切に行われていると感じますか。	2	4		

コメント

- 1 平成18年度以降、生徒による「授業評価アンケート」などの学校評価（PDCAサイクル）を実施し、評価数値の向上も見られるが、近年はやや伸び悩んでいる。
学校評価をもとに、執行部だけが危機意識や改革への意識をもつのではなく、校長の方針の下、全教職員が目的意識をもって、授業の工夫改善などに取り組む必要があると思います。そのためにも、教職員の内部評価や保護者全員の評価を外部評価者に提供し、改善点を明確にすることが大切であると考えます。
- 2 施設及び設備は指導上、安全上、管理上において大変素晴らしい施設であると思いますが、その資金の一部や教職員の給与は、多くの保護者によってもたらされることを教職員が十分自覚するとともに、施設設備について主たる利用者である生徒の声を聞くことも大切ではないのでしょうか。
- 3 生徒による事件・事故だけでなく教職員のたった一つの言動が事件・事故を招くことも多々あります。教職員の不祥事（体罰・セクハラ、成績書類やUSB紛失等）の防止など、常に教職員の危機管理意識を高めることが大切であると思います。
指導を要する教員については、管理職が問題点を具体的に指摘するなど、毅然とした態度で臨み、改善の方策を立てさせるなど本人の自覚を促す必要があると考えます。
- 4 個人情報の取扱いについても、教職員のUSB紛失など、対生徒・保護者だけでなく、教職員の不祥事を防止する対策は急務となっています、一層の業務管理をお願いします。

9 保護者等との連携

	設 問	A	B	C	D
1	保護者との連携は、適切に行われていると感じますか。	1	5		
2	卒業生との連携は、適切に行われていると感じますか。	1	4	1	

コメント

- 1 保護者のアンケート調査からも、学校の情報提供等について保護者は物足りなさを感じているように思えます。授業公開・保護者懇談会や部活動保護者会の開催回数を増やす、学校行事への参加を積極的に促すなど、保護者の協力を得るためにも、保護者との連携をさらに工夫する必要があると思います。
- 2 卒業生が多いことを生かした取組を考えても良いのではないだろうか。今後とも連携を図るために力を尽くして欲しい。

10 地域連携

	設 問	A	B	C	D
1	本校は、地域に開かれた学校づくりに努めていると感じますか。		5	1	
2	本校は、地域行事や学校行事等で積極的に交流していると感じますか。		4	2	

コメント

- 1 「地域に開かれた学校づくり」が必要であるならば、どこまで進めるかの目標設定が必要なのではないでしょうか。それがないと評価することは難しい。
「開かれた学校」は、学校を開放するという「内に開かれた学校」ということだけでなく、「外に開かれた学校」として、日大高校・中学校の教職員・生徒が地域に出て行くことも大切です。そのためには、まず、教職員が生徒の登下校路など地域をしっかりと知ることが大切であり、その上で生徒と地域との良好な関係を保つための登下校指導などをしっかり行うべきだと考えます。
- 2 生徒の安全確保に配慮する上でも、地域行事や地域ボランティア活動への参加、学校行事での地域との交流の機会は生かすべきだと考えます。特に、周年行事は地域を取り込む機会として重要な場であると考えます。

全体評価（各評価項目のアンケート結果やコメント等を総括）

評価概況
<ul style="list-style-type: none">○ 新しい校舎が完成し、素晴らしい施設・設備の中で生徒たちは大変満足し、青春を謳歌しているように見受けられます。ブラスバンドの音や他の部活動の音が聞こえなくなったことを寂しく感じますが、近隣に対する学校の配慮によるものと思っています。○ 「入口（募集）と出口（進路）」の関係が学校評価の重要な柱であり、募集者の数は「株価」、大学のなどの進路実績は教員の「通信簿」という観点で学校評価を行いました。○ 総合的に見て、学校運営が適正に行われていると評価しました。中学校・高等学校のレベル向上を図り、生徒が自覚をもって他校に負けない実績を残し、日本大学の評価をさらに高めて欲しい。○ 外部評価のための資料から見て、生徒の学力向上や授業改善に向けた取組が行われていると評価しました。○ 学校内部のことを外部から評価されることに、教職員にはまだまだ抵抗があると思いますが、この外部評価を「画に描いた餅」にせず、教育活動を中心とした学校経営に生かしていただくことを強くお願いいたします。
評価できる点
<ul style="list-style-type: none">○ 生徒たちは日大生としての誇りをもち、明るく楽しく伸び伸びと学校生活を送り、心豊かに愛される人間が育成されています。○ 大学との連携教育が充実していると思います。○ プライバシーが守られ、教師が言葉一言をよく考えて、一人ひとりに接し、教員への信頼も厚いように思えます。来校者への職員の対応も良いと感じました。○ 多少の温度差はあるものの、教員の授業などの教育活動に対する熱心な取組、また、大学付属校としての大学との連携を生かした教育や進路指導のシステムなどは大いに評価できると思います。○ 生活指導や部活動の指導は、指導体制の確立などそれぞれ継続的な課題を抱えながらも、熱心に取り組まれていることを強く感じます。○ 施設及び設備は、安全面、管理面においても十分配慮された素晴らしい施設・設備であると思います。
改善すべき点
<ul style="list-style-type: none">○ 日本大学高等学校・中学校は、共学化など時代の流れに応じて着実に改革を進めてきました。少子化や経済不況、政権交代による授業料無料化などにどのように対応していくかが課題であると思う。そういう時代であるからこそ、学校の方向性を示した「マニフェスト」を作成するなど、具体的な施策を講じる必要があるのではないのでしょうか。○ アンケートから「授業が理解できないことを放置する生徒」の割合が多いように思えます。学習の楽しさを体感できる授業改善など、さらなる学力向上に向けた取組を、学校・家庭が共に考える必要があるのではないのでしょうか。○ バイタリティ溢れる部活動を通して精神力が養ってほしい。○ 英語教育の充実、登下校の歩き方などのマナーを守る教育を進めていただきたい。○ 生徒の言葉遣いが気になります。先生方には教師として威厳をもって生徒に接していただきたい。○ 学校経営について、幹部と呼ばれる教職員と一般の教職員との間で温度差があるように感じました。一般の教職員に対して、学校として目指す方向性を明確に示し、それに向けて各分掌で様々な創意ある案がつけられることが、学校の活性化を生み、新しい校風づくりにつながると考えます。

- 日大高校・中学校だけではありませんが、『学習指導要領』の改訂などの新しい教育の方向について、教職員の研修体制を一層整えることが課題ではないでしょうか。
- 多様な考え方をもった保護者・生徒に対して、わかりやすく教育の方針や指導目標・内容を示すことが重要であると思います。また、保護者の考えをしっかりと受けとめる機会として、授業参観や学級懇談会を行事等の説明会とともに開催する、保護者の学校評価アンケートは全保護者対象とするなど、保護者の多様な考え方を聞く姿勢を学校（教職員）がもつことが大切であると思います。

その他

- 中学校・高等学校の時期が、人間形成の上で一番大事な時期です。
- 愛校心を育てるため、運動部の大会や吹奏楽部の定期演奏会への全校参加などを考えてみてはどうでしょうか。
- 受験シーズンを目前控え、新型インフルエンザ対策は急を要します。日大高校・中学校としての対応を早めに公表することが必要なのではないのでしょうか。
- 日吉駅からの通学路の定期的な清掃や登下校指導者の配置などの取組はどうでしょうか。
- 輝ける伝統とともに新しい時代に向けた校風づくりに向けては、学校の組織改革、教育活動の改善など、教職員一人一人が現状に甘んじることなく、より高い目標を求める生徒の育成に気概をもって取り組むことが、日大高校・中学校だけではありませんが、今後の学校経営の大きな課題であると考えます。